



筑波大学 CEGLOC

日本語・日本事情遠隔教育拠点 主催



第11回 日本語教育とICT活用を考える <理念編>

<理念編>では、各回さまざまな講師をお招きして、講師のICT活用に関する考え方をお話しいたします。また、フロアとの意見交換を通して、理解を深めることを目指します。

保坂 敏子

(日本大学大学院 総合社会情報研究科 教授)

ICTが拓く深い学びと探求の
コミュニティ



AIの台頭やグローバル化の進展などにより未知の課題が次々と立ち現れる現在、主体性と対話を通じた深い学びを促す「探求学習」が注目を浴びています。では、ICTをどのように活用すれば探求学習が実現できるのでしょうか。

その鍵となるのが、ガリソンらが提唱した「探求のコミュニティ」モデルです。本ウェビナーでは、認知的存在感・社会的存在感・教授的存在感の3要素から成るこのモデルを軸に、ICTを介した深い学びを支える方法を一緒に考えます。

日時：2024年 12 月 10 日(火) 14時～16時

開催方法：オンライン (Zoom ウェビナー形式)

参加費：無料

参加申込：<https://forms.gle/fnG5NrZta2LdGgcF9>

参加者には開催2日前までにzoomのリンクをお送りいたします。
参加者多数の場合はお申し込みを制限する場合がございます。

お問い合わせ先：[jp-kyoten\(at\)un.tsukuba.ac.jp](mailto:jp-kyoten(at)un.tsukuba.ac.jp)

✕ jp_kyoten



<参加申込>



<拠点HP>



筑波大学CEGLOC日本語・日本事情遠隔教育拠点では、

<理念編>：じっくり考える講演会、<ツール編>：すぐに使えるコンテンツワークショップを目的として今後も開催を計画しております。皆様のご参加、お待ちしております。